

令和8年度の学校経営に当たって

1 学校経営の基盤

【学校の創立】

本校は、平成27年4月1日、旧大内中学校と出羽中学校の統合により「由利本荘市立大内中学校」として開校した。本年度で開校12年目を迎える。これまでの歩みの中で培われてきた校風と伝統を継承しつつ、社会の変化に応じた新たな教育の創造を進め、未来を見据えた学校づくりに挑戦する。

【地域の概要】

本校区は豊かな山林資源と農業に恵まれた地域であるとともに、精密電気部品工場や建設業、林業など、多様な産業をもつ。新興住宅地や商店街も併存しており、保護者の職業や生活様式も多様である。一方で、65歳以上の高齢者の割合が45%を超え、少子高齢化が進んでいる。地域は日本海東北自動車道大内JCTに隣接し、あきた総合家畜市場、市総合体育館、道の駅など、多様な人が往来する活気ある地域環境にある。また、住民は教育活動への協力的姿勢が強く、日常的な生徒への声掛け、PTA活動、奉仕作業などに積極的に参加し、学校を温かく支えている。

【小中連携と地域協育の現状】

本校は、小学校との連携が年々強化されており、小中合同あいさつ運動や交流活動、学習面での協力などが継続的に行われている。地域住民も学校教育に深く関わり、生徒の見守り、地域行事参加、学習支援など、多様な形で「地域全体で子どもを育てる」仕組みが根づいている。本年度は、この連携と協育を「学校経営の柱」として位置付け、教育課程・行事計画・地域協育計画の三計画の連動を図り、継続性のある育成を進める。

【生徒の実態と重点課題】

本校生徒は「あいさつ日本一」を共通の価値としてもち、明るく礼儀正しい態度が地域から高く評価されている。また、生徒会活動や行事を通して協働性が育まれ、対話的・協働的な学びは本校の強みとなっている。一方で、自己肯定感・自己有用感の育成は依然として課題であり、その背景には、成功体験の不足、挑戦と振り返りの機会の偏り、学習や行事後の内省・承認の仕組みの弱さがある。本年度は「挑戦→内省→承認→次の挑戦」という学習サイクルを構造化し、生徒の主体性と成長実感を育てることを重点課題とする。

2 学校教育目標と目指す姿

(1) 学校教育目標

人間性豊かに たくましく生き抜く生徒の育成
～「あいさつ日本一」への挑戦を通して行動力を育む～

(2) 校訓と目指す生徒像

- 『自立』 自ら考え自ら判断し、進んで学習や諸活動へ主体的に取り組む生徒
- 『協調』 思いやりの心もち、仲間と共によりよい集団をつくる生徒
- 『躍進』 挑戦し続け、自らの可能性を高める生徒

(3) 目指す学校像

- ① 明るいあいさつが響き合い、一人一人が尊重され、自己の良さを伸ばせる学校
- ② 自立を促し、挑戦と成長を大切にする学校
- ③ 地域に開かれ、保護者・地域と協働して生徒の成長を支える学校
- ④ 地域に学び、地域に貢献し、持続可能な社会の創り手を育む学校

(4) 目指す教師像

- ① 生徒理解を深め、寄り添い支え、信頼関係を築ける教師
- ② 温かさや厳しさを兼ね備え、生徒の成長を促す教師
- ③ 保護者や地域から信頼され、協働して問題解決に当たる教師

2 学校として育てる3つの力

本校の教育活動を貫く育成目標として、次の3つの力を明確にする。

○自己調整力

「挑戦→内省→改善」の循環を自ら回し、学習や生活を主体的に改善する力

○社会的協働力

仲間と協力し、対話し、課題を共に解決する力

○地域とつながる力

地域で学び、地域に貢献し、地域と共に未来をつくる力

3 本年度の学校経営の重点

(1) 安全・安心と生活・学習改善の推進

- ① 生徒指導と授業づくりを一体化と授業の中での「居場所・絆・活躍」の場の保障
- ② 承認の機会（声かけ、記録、成果共有）の体系化と日々の「小さな成功」を見逃さない学校文化の形成
- ③ 学校と家庭が連携した生活習慣・学習習慣の改善と自己指導能力の育成
- ④ 道徳・特別活動を軸とした人間性・社会性・行動力を育てる指導の充実

(2) 確かな学力保証と学びの可視化（生徒を「ゴール」に導く授業展開）

- ① 「分かった・できた・もっと学びたい」を生徒が実感できる授業づくりの推進
- ② 形成的評価を軸にした振り返りシート等の即時的な可視化ツールの活用と学びの過程をポートフォリオ化して蓄積することによる学習の改善
- ③ 個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実による「主体的・対話的で深い学び」の実現
- ④ 教科等の見方・考え方を鍛えることによる「課題設定→見通し→自力解決・学び合い→振り返り」の学習過程の定着化
- ⑤ 探究活動での生徒の選択と決定を尊重した課題設定の重視による最後までやり抜く探究心の育成

(3) 小中連携を核とした地域協育の推進

- ① 小中合同あいさつ運動、年間行事の連携、学習面の接続などの体系的な計画による9か年での一貫した育成
- ② 地域人財・地域素財の積極的な活用による、キャリア教育・探究学習・地域学習の深化
- ③ 地域行事や交流活動を通じた「地域に学び、地域に貢献する」経験の積み重ねによる生徒の社会参画意識の高揚

(4) 挑戦文化の定着と自己肯定感の育成

- ① 行事・部活動・探究活動など、年間を通して生徒が挑戦できる多様な場の設定
- ② 仲間と成果や学びの共有や教職員・地域・保護者の承認に繋がる行事後の内省の時間の確保
- ③ 挑戦と失敗を肯定的に扱う文化の醸成と努力の過程を価値づける声掛けの徹底

(5) 保護者・地域と共に歩む学校づくり（「おらほの学校」づくり）

- ① 積極的な情報発信による「見える学校」づくり
- ② 生徒・教職員・保護者・地域の協働による学校評価での成果と課題の共有
- ③ P T A・地域団体との連携による、生徒の健全育成と学校運営を支える体制の強化
- ④ 地域との学びによる、持続可能な社会の創り手としての資質・能力の育成

4 学校経営の基本構想

<p>学習指導要領が求める力</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会を生き抜き、未来を切り開いていく力、課題対応力 ○確かな学力、豊かな人間性（豊かな心、健やかな体） ○知識・技能の習得（何を理解し、何ができるか）（理解していること・できることをどう使うか） ○学びに向かう力・人間性等（どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか） 	<p>経営の基本方針</p> <p>生徒が「自分の力で学び、挑戦し、地域に支えられ成長する学校」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.生徒をゴールに導く授業づくりによる「確かな学力保証」 2.自己肯定感と挑戦への意欲を育む「挑戦文化」の定着 3.心理的安全性と温かい人間関係を基盤とした「安心して学べる学校づくり」 4.小中連携と地域協育を核とした「地域とともにある学校」 5.保護者・地域と共に歩む「おらほの学校づくり」 	<p>本県学校教育が目指すもの</p> <p>「豊かな人間性を育む学校教育」ふるさとを愛し、社会を支える自覚と高い志にあふれる人づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○思いやりの心（人間愛・開かれた心） ○心と体（生き抜くたくましさ・はたらくことの喜び） ○基礎学力の向上（学ぶ意欲・個性と能力） <p>本市学校教育が目指すもの</p> <p>「人間性豊かで進取の気性に富む、たくましい子供の育成」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域力を活かした学校づくりと学校力を活かした地域づくり（コミュニティ・スクールの充実） ○確かな学力の形成 ○豊かな人間性の育成
--	--	--

学校教育目標
 人間性豊かに たくましく生き抜く生徒の育成
 ～「あいさつ日本一」への挑戦を通して行動力を育む～

<p>目指す学校像</p> <p>一人一人が輝き、地域とともに未来を創る学校</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.明るいあいさつが響き合い、一人一人が尊重され、自己の良さを伸ばせる学校 2.自立を促し、挑戦と成長を大切にする学校 3.地域に開かれ、保護者・地域と協働して生徒の成長を支える学校 4.地域に学び、地域に貢献し、持続可能な社会の創り手を育む学校 	<p>校訓と目指す生徒像</p> <p>『自立』 自ら考え自ら判断し、進んで学習や諸活動へ主体的に取り組む生徒</p> <p>『協調』 思いやりの心を持ち、仲間と共によりよい集団をつくる生徒</p> <p>『躍進』 挑戦し続け、自らの可能性を高める生徒</p>	<p>目指す教師像</p> <p>信頼を基盤に、生徒と地域をつなぎ育てる教師</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.生徒理解を深め、寄り添い支え、信頼関係を築ける教師 2.温かさと厳しさを兼ね備え、生徒の成長を促す教師 3.保護者や地域から信頼され、協働して問題解決に当たる教師
--	---	---

学校として育てる3つの力		
自己調整力	社会的協働力	地域とつながる力

本年度の経営の重点				
安全・安心と生活・学習改善の推進	確かな学力保証と学びの可視化	小中連携を核とした地域協育の推進	挑戦文化の定着と自己肯定感の育成	保護者・地域と共に歩む学校づくり
<ol style="list-style-type: none"> 1.生徒指導と授業づくりを一体化と授業の中での「居場所・絆・活躍」の場の保障 2.承認の機会（声かけ、記録、成果共有）の体系化と日々の「小さな成功」を見逃さない学校文化の形成 3.学校・家庭と連携した生活習慣・学習習慣の改善と自己指導能力の育成 4.道徳・特別活動を軸とした人間性・社会性・行動力を育てる指導の充実 	<ol style="list-style-type: none"> 1.「分かった・できた・もっと学びたい」を生徒が実感できる授業づくりの推進 2.形成的評価を軸にした振り返りシート等の即時的な可視化ツールの活用と学びの過程をポートフォリオ化して蓄積することによる学習の改善 3.個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実による「主体的・対話的で深い学び」の実現 4.教科等の見方・考え方を鍛えることによる「課題設定→見通し→自力解決・学び合い→振り返り」の学習過程の定着化 5.探究活動での生徒の選択と決定を尊重した課題設定の重視による最後までやり抜く探究心の育成 	<ol style="list-style-type: none"> 1.小中合同あいさつ運動、年間行事の連携、学習面の接続などの体系的な計画による9か年での一貫した育成 2.地域人財・地域素財の積極的な活用による、キャリア教育・探究学習・地域学習の深化 3.地域行事や交流活動を通じた「地域に学び、地域に貢献する」経験の積み重ねによる生徒の社会参画意識の高揚 	<ol style="list-style-type: none"> 1.行事・部活動・探究活動など、年間を通して生徒が挑戦できる多様な場の設定 2.仲間と成果や学びの共有や教職員・地域・保護者の承認に繋がる行事後の内省の時間の確保 3.挑戦と失敗を肯定的に扱う文化の醸成と努力の過程を価値づける声掛けの徹底 	<ol style="list-style-type: none"> 1.積極的な情報発信による「見える学校」づくり 2.生徒・教職員・保護者・地域の協働による学校評価での成果と課題の共有 3.P T A・地域団体との連携による、生徒の健全育成と学校運営を支える体制の強化 4.地域との学びによる、持続可能な社会の創り手としての資質・能力の育成

研究主題
 個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実を目指して
 ～「ゴール」を意識した探究学習の実践（2年次）～